

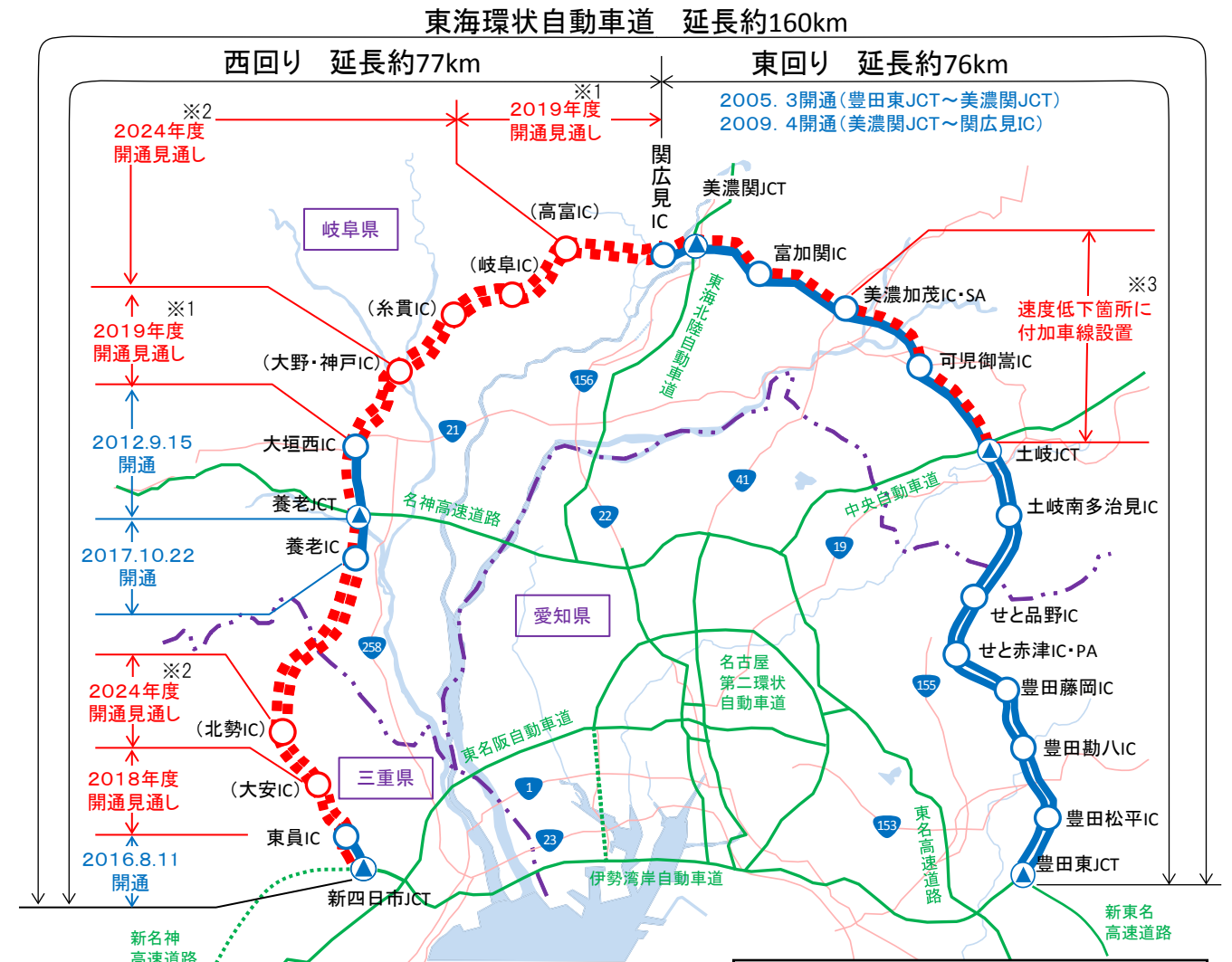
区間	延長	主な状況	備考
関広見IC ～ (高富IC)	8.4km	【工事】 橋梁上部工事、改良工事を推進中	2019年度 開通見通し ※1
(高富IC) ～ (岐阜IC)	6.1km	【工事】 改良工事を推進中 岐阜山県第一TN工事を推進中	2024年度 開通見通し ※2
(岐阜IC) ～ (糸貫IC)	6.3km	【工事】 橋梁下部工事、改良工事を推進中	
(糸貫IC) ～ (大野・神戸IC)	6.8km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁下部工事、改良工事を推進中	
(大野・神戸IC) ～ 大垣西IC	7.6km	【工事】 橋梁上部工事、改良工事を推進中	2019年度 開通見通し ※1
大垣西IC ～ 養老JCT	6.0km	2012年9月15日開通	
養老JCT ～ 養老IC	3.1km	2017年10月22日開通	
養老IC ～ (北勢IC)	18.0km 岐阜県区間9.0km 三重県区間9.0km	【用地】 用地取得中 【調査】 埋蔵文化財調査、橋梁詳細設計を推進中 【工事】 改良工事を推進中	
(北勢IC) ～ (大安IC)	6.6km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁下部工事を推進中	2024年度 開通見通し ※2
(大安IC) ～ 東員IC	6.4km	【工事】 橋梁上部工事、改良工事を推進中	2018年度 開通見通し
東員IC ～ 新四日市JCT	1.4km	2016年8月11日開通	

【延長】未開通:国土交通省の事業計画延長による 開通済:中日本高速道路(株)の管理延長による ※1: 予算状況等により開通時期が遅れることがあります ※2: 用地取得等が順調な場合

■事業目的

国道475号 東海環状自動車道は、愛知県豊田市を起点とし、愛知県瀬戸市、岐阜県岐阜市及び大垣市等の主要都市を経て三重県四日市市に至る延長約160kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）です。

本事業は、中京圏の放射状道路ネットワークを環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、環状道路内の渋滞緩和、沿線地域の地域産業・観光産業の支援、災害に強い道路機能の確保に寄与します。



※1: 予算状況等により開通時期が遅れることがあります
※2: 用地取得等が順調な場合
※3: 2022年度から順次供用見込み(2024年度全線供用見込み)

凡 例	
---	東海環状自動車道(事業中)
—	東海環状自動車道(開通済)
- - -	その他の高速道路(開通済・事業中)
—	主な国道

()書きのIC名称は仮称



愛称「MAGロード」
三重県の頭文字である「M」、同じく愛知県の「A」、岐阜県「G」を組み合わせ「MAGロード」と命名されました。マグネット(磁石)のように、それぞれの地域を引きつける道路という意味も込められています。

国土交通省 中部地方整備局
岐阜国道事務所・北勢国道事務所



<トピックス>

■広見トンネル 貫通式



2018年12月2日(日)、東海環状自動車道 広見トンネルの貫通式が、国会議員、地元首長など関係者約100人の出席のもと行われました。関広見IC～高富IC(仮称)区間の6本あるトンネルのうち最後の貫通となりました。

■海津地区 起工式

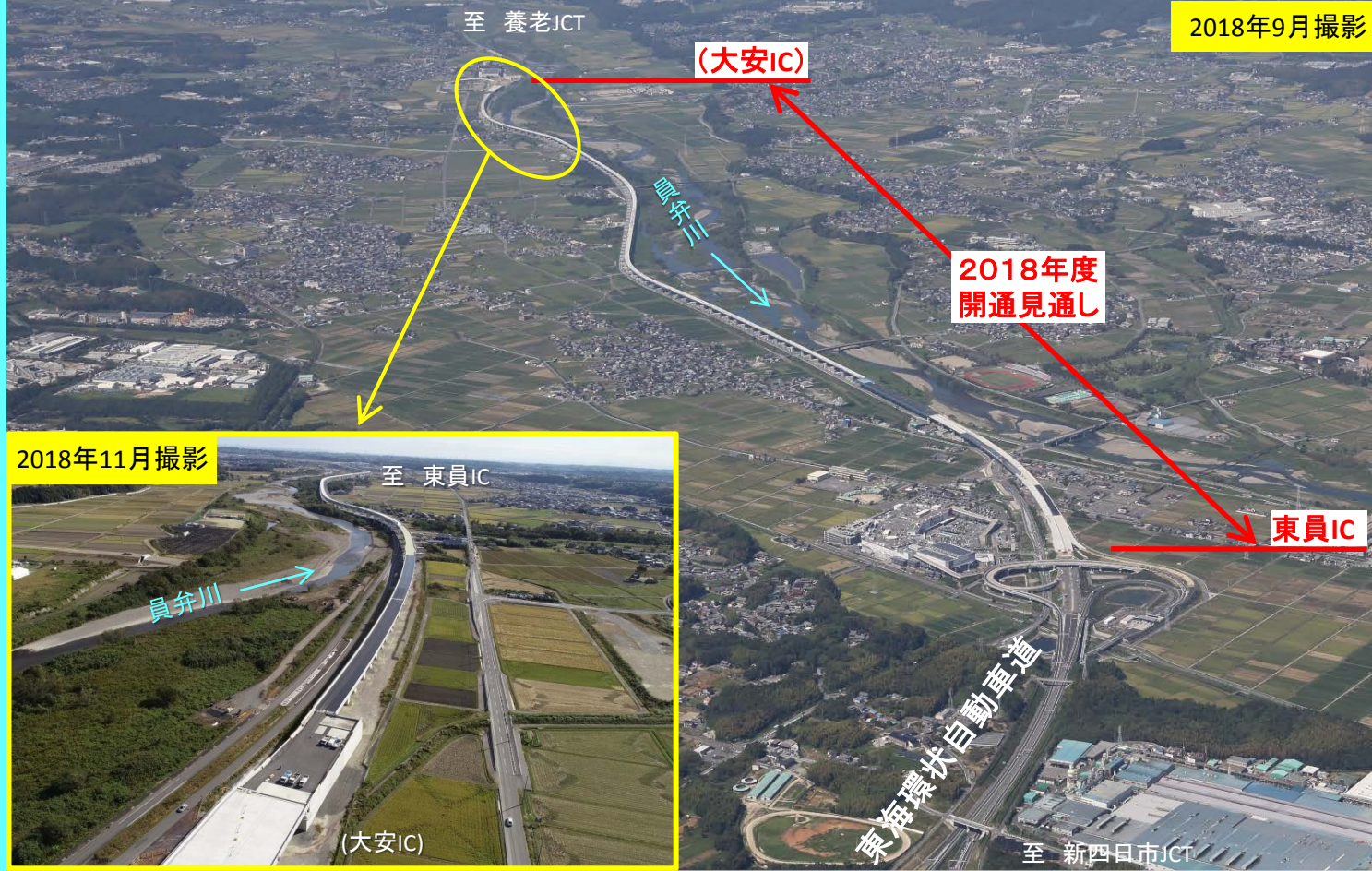


2018年12月2日(日)、東海環状自動車道 海津地区の起工式が、国会議員、地元首長など関係者約70人の出席のもと行われました。岐阜県内で最後の本線起工式の開催となりました。

東海環状自動車道(西回り)現場状況

■(大安IC)～東員IC

2018年度開通見通し



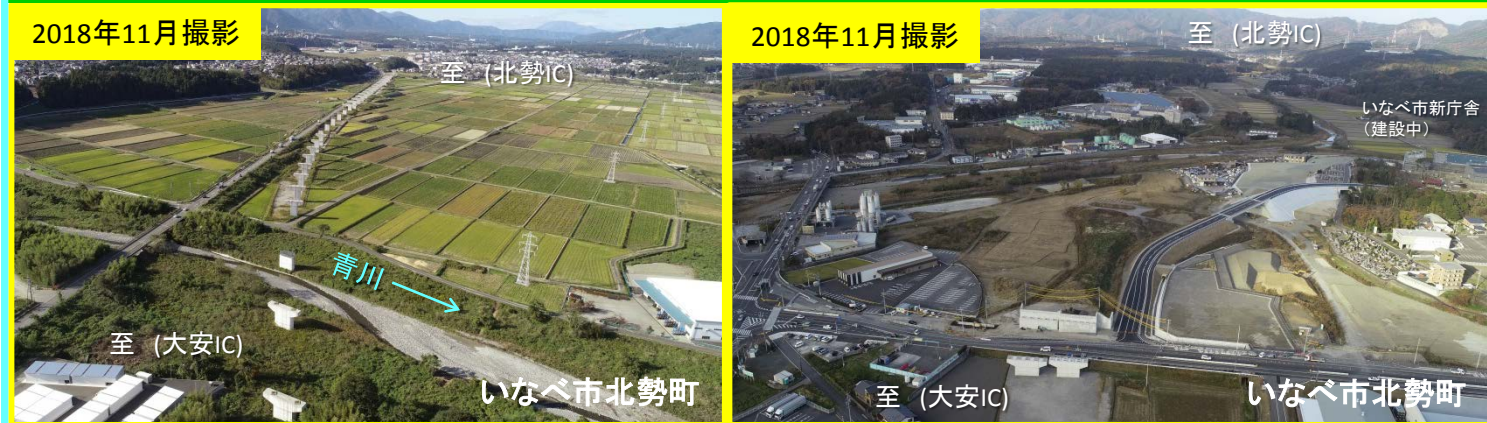
■(大野・神戸IC)～大垣西IC

2019年度開通見通し



■(北勢IC)～(大安IC)

2024年度開通見通し



■関広見IC～(高富IC)

2019年度開通見通し



■(高富IC)～(大野・神戸IC)

2024年度開通見通し

